

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時05分32秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

事業概要	
対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
小学校児童に	基礎・基本の学力定着を図り、これを活用できる表現力を身につけさせる。
事業内容	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の実施（年1回） 市内小学校の全学年の児童を対象に、学力調査（国語・算数の2教科）を実施する。 ・福岡県学力実態調査「個人成績表」の作成 福岡県が費用を負担し実施する福岡県学力実態調査（小学校6年生が対象、理科・社会の2教科）について、市で業者に委託し成績表を作成する。 ・学習支援アシスタントの派遣 各小学校の放課後補充教室の支援及び授業中における児童の学習支援のため、学習支援アシスタントを各学校に派遣する。 ・学力向上支援対応講師の配置 ①平成16年度より小学校低学年（1、2年生）に対し少人数学級対応講師を配置。 ②平成23年度は、国費による小学校1年生の少人数学級制が施行されたことから、市では小学校2年生に対する少人数学級対応講師を配置。併せて、3・4年生に対する学力向上支援対応講師を配置。
	<p>事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）</p> <p>市で行う小学校学力テストは、全学年において国語・算数の2教科を実施している。 このテストの分析結果を基に学力向上推進委員会で分析の検討及び研究の結果から、効果的な指導方法、指導方法の工夫改善等に活かしている。児童がどこにつまずきがあるのか、どう改善を行うべきかを検討実践することは有益と考える。 また学習支援アシスタントは、放課後補充学習、質問教室、長期休業中補充学習等をより充実させ、学力が十分に身につけていない児童への支援を行うことにより、結果全ての児童の学力向上を図っている。 学力向上支援対応講師の配置は、小学校低学年の少人数学級対応講師の配置を継続して行うとともに、新学習指導要領の完全実施に伴い、分数やローマ字等つまずきやすい単元の学習が始まる小学校中学年に対して講師を配置する事業であり、平成23年度から新規に取り組むこととする。</p>

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	学事係	吉永ゆかり	
直通番号・内線	942-1130	423	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足				
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性		規模			経費			
						規模	経費							
基本事業を構成する細事業	1	小学校学力テスト事業費	前々年度								前々年度事後評価			
		人工数 0.0000	前年度											
		継続 経常的経費 枠内	現年度	1	4	4	4	3				4		
	2	702010 教育部・学校教育課・学	前々年度									前年度事後評価		
		小学校学力向上支援対応講師配置事業費	前年度											
		人工数 0.0000	現年度	3	4	4	4	3					4	
	3	702010 教育部・学校教育課・学	前々年度										現年度事前評価	
		小学校学習支援アシスタント派遣事業費	前年度											
		人工数 0.0000	現年度	2	4	4	4	3						4
		702010 教育部・学校教育課・学	前々年度											現年度事後評価
			前年度											
			現年度											
		前々年度												
		前年度												
		現年度												
		前々年度												
		前年度												
		現年度												
		前々年度												
		前年度												
		現年度												
		前々年度												
		前年度												
		現年度												
全ての児童の学力向上のための施策として効果的である。														

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.1900	-	-	-	-	*****	*****	0.1900

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時05分32秒 作成

担当課	702010	教育部・学校教育課・学事係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	学事係	吉永ゆかり	
直通番号・内線	942-1130	423	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			学力テストの実施回数	MP前期	1	1	1	1	1	*****
		実施計画	1	1	1	-	-	-	-	*****
	単位	回	結果	1	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	学力テストの実施回数									
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			学習支援アシスタント活用回数	MP前期	1900	1900	1950	1950	1950	*****
		実施計画	1900	1900	1950	-	-	-	-	*****
	単位	回	結果	1897	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	小学校に派遣した学習支援アシスタントの活用回数									
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			到達度別人数比(C評価の割合)	MP前期	30	30	28	28	26	*****
		実施計画	30	30	28	-	-	-	-	*****
	単位	%	結果	34	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	到達度別人数比(C評価の割合)	標準学力検査において、3・4年生の国語・算数で期待正答率を上回ることを目指す。到達度別人数比において、努力を要する(C評価)の児童の割合を現在の30%台から20%台に減らすことを目標とする。								

(単位:千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期	0	25,960	25,960	25,960	25,960
実計(当初)	25,960	0			0	-	-	-	-	25,960
決算	24,417	-		-	-	-	*****	*****	24,417	
共通事務費	MP前期	0		0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0		
人件費関連	MP前期	0	1,610	1,610	1,610	1,610	*****	*****	6,440	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
決算	1,510	-	-	-	-	*****	*****	1,510		
歳出計①	MP前期	0	27,570	27,570	27,570	27,570	*****	*****	110,280	
	実計(当初)	25,960	0	0	-	-	-	-	25,960	
決算	25,927	-	-	-	-	*****	*****	25,927		
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0		
一般財源①-②	MP前期	0	27,570	27,570	27,570	27,570	*****	*****	110,280	
	実計(当初)	25,960	0	0	-	-	-	-	25,960	
決算	25,927	-	-	-	-	*****	*****	25,927		
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	児童の学力向上を図るために必要性が高い事業と考える。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	学力テスト実施にあたっては業務委託契約を行うことにより経費節減を図っている。講師配置についても必要最小限の経費で実施している。アシスタント派遣にあたっては、各学校を通じ、大学生や地域の方々などを効率的に活用している。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	低学年における少人数学級編制の実現や放課後学習の支援など、児童生徒の学力向上のために役立てられており、個に応じたきめ細かな学習指導等につながったことから、成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、少人数学級対応講師派遣に対する市民の満足度はやや高く、今後も国の動向を見ながら少人数学級編制を継続し、児童の学力向上を図りたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時05分34秒 作成

担当課	702010	教育部・学校教育課・学事係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

	事 業 概 要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事 業 内 容	各中学校、中学生、保護者に対して	必要な予算的支援及び学校・保護者の費用負担軽減を行い、部活動が円滑に行われるようにする。
	事 業 内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動消耗品、部活動備品等の整備及び管理の徹底 ・部活動大会等に参加する場合の費用補助 ・専門的技術指導のできる部活動外部講師の派遣 	
	事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）	
	古賀市内の中学校生徒が、学校教育活動の一環として、文化または体育等に関する部活動が円滑に行われるよう、消耗品・備品等を整備し、部活動の活性化に寄与するとともに、部活動大会等に参加する際の費用（大会参加料・旅費）を補助することにより、保護者の負担軽減を図っている。また、専門的技術指導の出来る部活動外部講師の派遣要綱を平成19年度に制定し、部活動の活性化を図っている。	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施 策 評 価	
	必要性	効率性	成 果	方向性		貢献度	補 足	
			規模	経費				
	※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小							

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補足
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性				
						規模	経費			
1 部活動管理事務費	前々年度								前々年度事後評価	
	人工数 0.0000									
	継続 経常的経費 枠内									
2 部活動大会参加補助金事業費	前々年度							前年度事後評価		
	人工数 0.0000									
	継続 経常的経費 枠内									
3 部活動指導等支援事業費	前々年度							現年度事前評価		
	人工数 0.0000									
	継続 経常的経費 枠内									
702010 教育部・学校教育課・学部活動大会参加補助金事業費	前々年度	1	4	4	4	3		現年度事後評価		
	人工数 0.0000									
	継続 経常的経費 枠内									
702010 教育部・学校教育課・学部活動指導等支援事業費	前々年度	2	4	4	4	3		現年度事後評価		
	人工数 0.0000									
	継続 経常的経費 枠内									
702010 教育部・学校教育課・学部活動指導等支援事業費	前々年度	3	4	4	4	3		現年度事後評価		
	人工数 0.0000									
	継続 経常的経費 枠内									

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****
実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	-	0.0000
決算	0.2100	-	-	-	-	-	*****	*****	0.2100

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010	教育部・学校教育課・学事係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	学事係	吉永ゆかり	
直通番号・内線	942-1130	423	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	
指標①	部活動数	MP前期	51	51	51	51	51	*****	*****	51
		実施計画	51	51	51	-	-	-	-	*****
		結果	51	-	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	部活動数	古賀市内中学校部活動数								
指標②	部活動に加入している生徒の率	MP前期	80	80	80	85	85	*****	*****	90
		実施計画	80	80	80	-	-	-	-	*****
		結果	77	-	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	部活動に加入している生徒の率(%)	5/1学校基本調査より								
指標③	部活動に加入している生徒の率(%)	MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
		結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期	MP前期
歳出	直接事業費	MP前期	0	13,796	13,796	13,796	13,796	*****	*****	55,184
		実計(当初)	8,235	0	0	0	0	-	-	8,235
		決算	5,576	-	-	-	-	*****	*****	5,576
共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	5,390	-	-	-	-	*****	*****	5,390	
人件費関連	MP前期	0	1,505	1,505	1,505	1,505	*****	*****	6,020	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	1,505	-	-	-	-	*****	*****	1,505	
歳出計①	MP前期	0	15,301	15,301	15,301	15,301	*****	*****	61,204	
	実計(当初)	8,235	0	0	-	-	-	-	8,235	
	決算	12,471	-	-	-	-	*****	*****	12,471	
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
県支出金	MP前期	0	420	420	420	420	*****	*****	1,680	
	実計(当初)	420	0	0	-	-	-	-	420	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
特財計②	MP前期	0	420	420	420	420	*****	*****	1,680	
	実計(当初)	420	0	0	-	-	-	-	420	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
一般財源①-②	MP前期	0	14,881	14,881	14,881	14,881	*****	*****	59,524	
	実計(当初)	7,815	0	0	-	-	-	-	7,815	
	決算	12,471	-	-	-	-	*****	*****	12,471	
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	学校教育活動の一環として子どもの体力向上を図るとともに、身体的・精神的に強い意志のある人間や、お互い協力して助け合い社会的にも豊かな人間を育成していくことを部活動を通して行うために必要な事業である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	各学校の状況を調査し、実情や要望に基づき必要経費を予算計上していることから効率性は高いと考える。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	備品の整備、外部講師の派遣、大会参加補助等を行い、部活動の活性化に大きく寄与していることから成果をあげていると判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、外部講師の派遣に対しての市民の満足度はやや高く、今後も学校や保護者の費用負担軽減の観点から部活動活性化を図るべく事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時06分37秒 作成

担当課	702020	教育部・学校教育課・指導係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月02日	
係・氏名	指導係	本田 嘉彦
直通番号・内線	942-1348	427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	問題行動（不登校若しくは不登校傾向等）を示す児童・生徒に対して、	児童・生徒の生活環境を改善し、学校復帰若しくは欠席数の減少を目指す。
	事業内容	
	小・中学校の要請に対し、不登校若しくは不登校傾向を示す児童・生徒が抱える問題（環境）への働きかけを行う。 ・問題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけ ・関係機関とのネットワークの構築 ・学校内におけるチーム体制の構築 ・保護者に対する支援・相談・情報提供 ・児童・生徒へのカウンセリング ・児童・生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供 ・教職員等への研修活動 等を行う	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
子どもを取り巻く環境は、近年の都市化、少子高齢化、核家族化や経済情勢に伴う家庭や地域の教育力の等大きく変化していく中で、児童・生徒のいじめ、不登校、暴力行為・非行等の問題行動は、依然憂慮すべき状況にある。 児童・生徒の問題行動等の状況や背景には、児童・生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等児童・生徒が置かれている環境も複雑に絡みあっている場合も少なくない。 こうした児童・生徒が抱える問題を解決若しくは軽減するためには、家庭内の問題、児童虐待、育児放棄、友人関係等に着目し、それぞれの児童の環境に応じた対応が必要不可欠である為、福祉等に関して専門的な知識及び経験を有する者を任用し、子どもに影響を及ぼしている学校、家庭、地域環境の改善に向け、支援ネットワークの構築に役立てる。		

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月02日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価				貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性				
						規模	経費			
1 スクールソーシャルワーカー事業費 人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠内 平成23年度 ~ 702020 教育部・学校教育課・指	前々年度								前々年度事後評価	
	前年度									
	現年度	1	4	4	4	2	3	4		4
	702020 教育部・学校教育課・指									
	前々年度								前年度事後評価	
	前年度									
	現年度									
	前々年度								現年度事前評価	
	前年度									
	現年度									
	前々年度								現年度事後評価	
	前年度									
	現年度									

問題行動を示す児童生徒が抱える問題を解決若しくは軽減するためにも、一層の支援が必要と思われる。

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.1900	-	-	-	-	*****	*****	0.1900

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時06分37秒 作成

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月02日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			指標①	MP前期	360	360	360	360	360	*****
	実施計画	360	360	360	-	-	-	-	-	*****
	結果	366	-	-	-	-	*****	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	年間の活用時間数									
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	MP前期							*****	*****	
	実施計画							*****	*****	*****
	結果							*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	MP前期							*****	*****	
	実施計画							*****	*****	*****
	結果							*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	MP前期	0	2,160	2,160	2,160	2,160	*****
	直接事業費	実計(当初)	2,160	0	0	0	0	-	-	2,160
		決算	2,196	-	-	-	-	*****	*****	2,196
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	0	0	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	人件費関連	MP前期	0	1,300	1,300	1,300	1,300	*****	*****	5,200
		実計(当初)	0	0	0	0	0	-	-	0
		決算	1,878	-	-	-	-	*****	*****	1,878
	歳出計①	MP前期	0	3,460	3,460	3,460	3,460	*****	*****	13,840
		実計(当初)	2,160	0	0	-	-	-	-	2,160
		決算	4,074	-	-	-	-	*****	*****	4,074
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	一般財源①-②	MP前期	0	3,460	3,460	3,460	3,460	*****	*****	13,840
		実計(当初)	2,160	0	0	-	-	-	-	2,160
		決算	4,074	-	-	-	-	*****	*****	4,074
		【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】								

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	問題行動(不登校等)を示す児童生徒の生活環境改善を目的として配置している。児童生徒を取り巻く環境は年々複雑化、深刻化していることから、その環境改善に対し福祉等に関して専門的な知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーの派遣は必要である。
	評価基準 5: 実施が義務付けられた事業、4: 市が実施する必要がある事業、3: 市が実施する必要が概ねある事業、 2: 市として実施する必要があまりない事業、1: 市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	3中学校を拠点校として各校区の小学校にも派遣可能となっている。本年度の活用時間数は予定よりも多くニーズが非常に高かった。
	評価基準 4: 費用対効果が得られた事業、3: 費用対効果が概ね得られた事業、2: 費用対効果があまり得られていない事業、 1: 費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	複雑な内容の相談が多い中、問題解決に対する献身的な活動に学校現場や関係機関からも高い評価を受けたことから、成果があったと判断する。
	評価基準 4: 目標を達成している事業、3: 目標を概ね達成している事業、2: 目標をあまり達成できていない事業、 1: 目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	2	4	4	事業満足度調査では、市民の満足度は高かった。平成24年度から時間数増の対応がなされており、児童生徒及び保護者の悩みや不安を軽減、解消することにより生活環境の改善が図られるよう、今後も事業を継続されたい。
※ 方向性 3: 現状維持、2: 見直しのうえ継続、1: 廃止、0: 終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4: 拡大、3: 維持、2: 縮小 経費 … 4: 拡大、3: 維持、2: 縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時06分39秒 作成

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	指導係	本田 嘉彦
直通番号・内線	942-1348	427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
	小学校児童・教職員・保護者に対して	相談相手となる県費負担スクールカウンセラーや心の教室相談員を配置し、児童が抱える様々な悩み、不安、ストレスを解消することにより、児童の心にゆとりが持てる環境づくりをめざす
事業内容	事業内容	
	<p>【スクールカウンセラー】 県費負担スクールカウンセラー（各中学校に配置）の任用事務、 中学校との調整事務、 県教育事務所への調査報告事務を行っている。</p> <p>【心の教室相談員】 全小学校1校に1人の当相談員の配置、 年4回の心の教室相談員研修会の実施、 当相談員の報酬支払事務を行っている。</p>	
	事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）	
	心の教室相談員は、平成19年度より当事業を開始しているところである。 県配置のスクールカウンセラー、学校、当課と連携しながら心の相談業務を行なった結果、不登校を未然に防ぐことに役立っており、継続していくべき事業と考える。	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	指導係	本田 嘉彦
直通番号・内線	942-1348	427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価				貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性				
						規模	経費			
基本事業を構成する細事業	1	小学校心の教室相談員配置事業費	前々年度							前々年度事後評価 前年度事後評価 現年度事前評価 現年度事後評価
		人工数 0.0000	前年度							
		継続 経常的経費 枠内	現年度	1	4	4	4	3	4	
	平成19年度～ 702020 教育部・学校教育課・指	前々年度								
	2	小学校スクールカウンセラー事業	前々年度							
		人工数 0.0000	前年度							
		継続 経常的経費 枠内	現年度	2	4	4	4	3	3	
			前々年度							
			前年度							
			現年度							
			前々年度							
			前年度							
		現年度								
		前々年度								
		前年度								
		現年度								
		前々年度								
		前年度								
		現年度								
		前々年度								
		前年度								
		現年度								

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.1200	-	-	-	-	*****	*****	0.1200

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時06分39秒 作成

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			心 <small>の</small> 教室相談員人数	MP前期	8	8	8	8	8	
		実施計画	8	8	8	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	8	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	配置人数合計	市内小学校8校に各校1人配置する。								
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			心 <small>の</small> 教室相談員活用時間数	MP前期	250	250	250	250	250	
		実施計画	250	250	250	-	-	-	-	*****
	単位	時間	結果	250	-	-	-	*****	*****	*****
指標②	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	年間で相談支援にあたった時間数									
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
				MP前期						
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
指標③	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位:千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期	0	2,500	2,500	2,500	2,500
実計(当初)	2,500	0			0	-	-	-	-	2,500
決算	2,472	-			-	-	-	*****	*****	2,472
共通事務費	MP前期	0		0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0		0	0	-	-	-	-	0
	決算	0		-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	0	1,062	1,062	1,062	1,062	*****	*****	4,248	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	1,062	-	-	-	-	*****	*****	1,062	
歳出計①	MP前期	0	3,562	3,562	3,562	3,562	*****	*****	14,248	
	実計(当初)	2,500	0	0	-	-	-	-	2,500	
	決算	3,534	-	-	-	-	*****	*****	3,534	
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	一般財源①-②	MP前期	0	3,562	3,562	3,562	3,562	*****	*****	14,248
		実計(当初)	2,500	0	0	-	-	-	-	2,500
		決算	3,534	-	-	-	-	*****	*****	3,534
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	児童が抱えている悩みや不安を相談員に気軽に話をする事で、ストレスを和らげ不登校やいじめ等の未然防止に努め、心にゆとりを持てる環境づくりを行うことが出来た。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	各学校とも様々な相談に対応し、ほぼ予定通りの活用があった。又、県配置のスクールカウンセラーや学校関係者と連携を取り、相談に関する情報を共有することで、問題行動の発生を未然に防ぐことができた。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	心の教室相談員を配置し、カウンセリング等を行うことにより、いじめや不登校等の未然防止に努め、問題行動を減らす効果があった。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、心の教室相談員配置に対する市民の満足度は高く、児童が抱える悩みや不安を解消して問題行動を未然に防止し、ゆとりを持った環境づくりを行うことは、学校生活を送る上で大変重要であることから、今後も継続して事業を実施されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時06分42秒 作成

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田	嘉彦
直通番号・内線	942-1348	427	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	中学校生徒・教職員・保護者に対して	相談相手となる県費負担スクールカウンセラーや心の教室相談員を配置し、生徒が抱える様々な悩み、不安、ストレスを解消することにより、生徒の心にゆとりが持てる環境づくりをめざす
	事業内容	
	<p>【スクールカウンセラー】 県費負担スクールカウンセラー（各中学校に配置）の任用事務、小学校との調整事務、県教育事務所への調査報告事務を行っている。</p> <p>【心の教室相談員】 全中学校1校に1人の当相談員を配置、年4回の心の教室相談員研修会の実施、当相談員の報酬支払事務を行っている。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
心の教室相談員は、平成19年度より当事業を開始しているところである。 県配置のスクールカウンセラー、学校、当課と連携しながら、心の相談業務を行なった結果、不登校を未然に防ぐことに役立っており、継続していくべき事業と考える。		

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702020	教育部・学校教育課・指導係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性					
						規模	経費				
1 中学校心の教室相談員配置事業費	前々年度									前々年度事後評価	
	人工数 0.0000										
	継続 経常的経費 枠内										
	現年度	1	4	4	4	3			4	前年度事後評価	
2 中学校スクールカウンセラー事業	前々年度										前年度事後評価
	人工数 0.0000										
	継続 経常的経費 枠内										
	現年度	2	4	4	4	3			3	現年度事前評価	
前々年度									現年度事後評価		
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											
前々年度										現年度事後評価	
前年度											
現年度											

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.1200	-	-	-	-	*****	*****	0.1200

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時06分42秒 作成

担当課	702020	教育部・学校教育課・指導係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			指標①	心の教室相談員人数	MP前期	3	3	3	3	
		実施計画	3	3	3	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	3	-	-	-	-	-	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	配置合計人数	市内中学校3校に各校1人配置する。								
指標②	心の教室相談員活用時間数	MP前期	250	250	250	250	250	*****	*****	250
		実施計画	250	250	250	-	-	-	-	*****
	単位	時間	結果	250	-	-	-	-	-	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	年間で相談支援にあたった時間数									
指標③		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結果								*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位:千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計	
			歳出	直接事業費	MP前期	0	938	938	938		938
		実計(当初)	938	0	0	-	-	-	-	938	
		決算	936	-	-	-	-	*****	*****	936	
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	人件費関連	MP前期	0	1,062	1,062	1,062	1,062	*****	*****	4,248	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	1,062	-	-	-	-	*****	*****	1,062	
	歳出計①	MP前期	0	2,000	2,000	2,000	2,000	*****	*****	8,000	
		実計(当初)	938	0	0	-	-	-	-	938	
		決算	1,998	-	-	-	-	*****	*****	1,998	
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	一般財源①-②	MP前期	0	2,000	2,000	2,000	2,000	*****	*****	8,000	
		実計(当初)	938	0	0	-	-	-	-	938	
		決算	1,998	-	-	-	-	*****	*****	1,998	
	【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	生徒が抱えている悩みや不安を相談員に気軽に話をする事で、ストレスを和らげ不登校やいじめ等の未然防止に努め、心にゆとりを持てる環境づくりを行うことができた。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	各学校とも様々な相談に対応し、ほぼ予定どおりの活用があった。又、県配置のスクールカウンセラーや学校関係者と連携を取り、相談に関する情報を共有することで、問題行動の発生を未然に防ぐことができた。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	心の教室相談員を配置し、カウンセリング等を行うことにより、いじめや不登校等の未然防止に努め、問題行動を減らす効果があった。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、心の教室相談員配置に対する市民の満足度は高く、生徒が抱える悩みや不安を解消して問題行動を未然に防止し、ゆとりを持った環境づくりを行うことは、学校生活を送る上で大変重要であることから、今後も継続して事業を実施されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小				

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	------------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

	事業概要	
	対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
	全ての小学校児童に	学校環境に適応し、小学校過程を過ごしてもらう。
事業内容	事業内容	
	<p>本事業は、小学校の環境に適応するのが最も困難な小学校1年生に対して、適切な対応をとることを目的としている。</p> <p>幼児教育から義務教育へと移行した際、教科中心、決まり事の多い小学校へと環境が急変することに対応できない小学校1年生が、「教師の話を開けずに、教室を歩き回る」、「友だちと騒いで授業が成立しない」、「わがままのし放題で集団での活動ができない」等の問題が生じている。その結果、授業不成立をはじめとする学級の「学び」と「暮らし」「遊び」をつなぐ機能が発揮できない状況に陥ることがある。</p> <p>これらの問題を解決するため、小学校という環境になじめず学習指導や生活指導に困難が生じる小学校1年生担任の補助を行うことを目的とする学級補助員を配置し、すべての児童の学力の向上と学級の健全化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前から小学校への連続性を重視した補助を行う ・学習指導、生活指導、行事等において担任の補助を行う ・すべての児童の学力の向上と学級の健全化に向けた補助を行う ・対応する児童、学級については校長の指示に従い補助を行う 	
事業内容	事業の経緯及び今後の展望(開始～現在～将来)	
	<p>幼児教育から義務教育へと移行した際、小学校という環境になじめず学習指導や生活指導に困難が生じる小学校1年生において、担任の補助を目的とする学級補助員を配置し全ての児童の学力の向上と学級の健全化を図ることとした。</p> <p>平成21年度より事業を開始し、平成21・22年度は各小学校に1名の学級補助員を配置してきたが、平成23年度は事業規模拡大して1年生のクラス数が3学級以上となる学校には2名の配置を行っている。</p> <p>事業を実施した結果、児童の学力が向上した、学校生活が安定した等の成果が顕著に現れており、今後も引き続き事業を実施していく。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
<p>※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小</p>								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価				貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性				
						規模	経費			
基本事業を構成する細事業	前々年度								前々年度事後評価	
	前年度									
	現年度	1	4	4	4	3		4		
	前々年度									前年度事後評価
	前年度									
	現年度									
	前々年度									現年度事前評価
	前年度									
	現年度									
	前々年度									現年度事後評価
	前年度									
	現年度									

平成23年度より1学年の学級数が2クラスの学校には2名の配置と規模拡大しており、より大きな効果をあげている。

※ 方向性 …… 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 …… 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 …… 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 …… 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
決 算	0.1100	-	-	-	-	*****	*****	0.1100	

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時05分37秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			学級補助員配置人数	MP前期	11	11	11	11	11	*****
		実施計画	11	11	11	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	12	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	小1プロブレム対策として配置した学級補助員の数。									
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H27年度
			不登校児童数	MP前期	5	5	4	4	3	*****
		実施計画	5	5	4	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	5	-	-	-	*****	*****	*****
指標②	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	不登校児童数	小学校の問題行動の状況の把握を行うため、主に不登校児童数について記載								
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			標準学力調査における正答率80%以上の児童の割合	MP前期	80	80	80	80	80	*****
		実施計画	80	80	80	-	-	-	-	*****
	単位	%	結果	76	-	-	-	*****	*****	*****
指標③	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	標準学力調査における正答率80%以上の児童の割合									

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計	
			歳出	直接事業費	MP前期	0	7,524	10,944	10,944	10,944	*****
実計(当初)	7,586	0			0	-	-	-	-	7,586	
決算	7,953	-			-	-	-	*****	*****	7,953	
歳出	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
歳出	人件費関連	MP前期	0	990	990	990	990	*****	*****	3,960	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	990	-	-	-	-	*****	*****	990	
歳出	歳出計①	MP前期	0	8,514	11,934	11,934	11,934	*****	*****	44,316	
		実計(当初)	7,586	0	0	-	-	-	-	7,586	
		決算	8,943	-	-	-	-	*****	*****	8,943	
基本事業経費	歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
			実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
			決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	歳入	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
			実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
			決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	歳入	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
			実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
			決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	歳入	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
			実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
			決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
歳入	特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
歳入	一般財源①-②	MP前期	0	8,514	11,934	11,934	11,934	*****	*****	44,316	
		実計(当初)	7,586	0	0	-	-	-	-	7,586	
		決算	8,943	-	-	-	-	*****	*****	8,943	
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】											

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

評価区分	評価点		その理由
必要性	二次評価	4	全ての児童の学力向上と学級の健全化を図るのに必要な事業である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業		
効率性	二次評価	4	年間勤務日数・勤務時間等を考え、効率的に講師の雇用と配置を行っている。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業		
成果	最終評価	4	各学校1名ずつの補助員配置としていたが、平成23年度より1学年の学級数が3クラスの学校には2名の配置と規模拡大し、新しい環境になじみず学習や集団生活に困っている児童の支援やきめ細かな指導等を行うことができていことから、成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業		

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、児童の学力向上と学級の健全化を図るべく、今後も事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時05分40秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	全ての中学校生徒に	学校環境に適応し、中学校過程を過ごしてもらう。
	事業内容	
	<p>本事業は、中学校の環境に適応するのが最も困難な中学校1年生に対して、適切な対応をとることを目的としている。きめ細やかな学習指導、生活指導を行うことを目的とした講師を配置し、全ての生徒の学力の保障を図る。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
<p>小学校から中学校へ進学する段階で、英語等新しい教科の学習が始まったり、学習内容も高度になり、学習についていけず充実感や達成感を味わえなくなり、学力テストや定期テストの実施等小学校とは異なる教育システムに適応できなくなる生徒が現れる。その結果、中学校の学習や生活の変化に馴染めず学力不振、不登校、いじめ、荒れなどにつながってくる。</p> <p>この問題を未然に防ぐため、平成18年度から、きめ細やかな学習指導、生活指導を行うことを目的とした講師を配置し、全ての生徒の学力の保障を図ることとした。</p> <p>事業を実施した結果、不登校生徒が減少した等の成果が現れており、今後も引き続き事業を実施していく。</p>		

	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
前々年度事後評価結果				規模	経費			
<p>※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小</p>								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性		規模			経費
						規模	経費				
1 中1ギャップ対策講師配置事業費	前々年度									前々年度事後評価	
	人工数	0.0000									
	継続	経常的経費	枠内								
	702010 教育部・学校教育課・学										
	現年度	1	4	4	4	3			4	前年度事後評価	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									前年度事後評価	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									現年度事前評価	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									現年度事後評価	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									事業の趣旨に沿って、適正に事務を遂行している。	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									事業の趣旨に沿って、適正に事務を遂行している。	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									事業の趣旨に沿って、適正に事務を遂行している。	
	前々年度										
	前年度										
	現年度									事業の趣旨に沿って、適正に事務を遂行している。	
	前々年度										
	前年度										

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.1200	-	-	-	-	*****	*****	0.1200

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時05分40秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			講師配置人数	MP前期	7	7	7	7	7	*****
		実施計画	7	7	7	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	7	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	中1ギャップ対策として配置した講師の数。									
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H28年度
			中学校1年生不登校生徒数	MP前期	6	6	5	5	5	*****
		実施計画	6	6	5	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	10	-	-	-	*****	*****	*****
指標②	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	中学校1年生不登校生徒数(不登校生徒割合指標 現況1.0%→目標0.8%(MPより) H23中1 540人、H28中1(推計)520人程度 減少させることを目標)									
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
				MP前期						*****
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
指標③	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位:千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期	0	17,378	17,378	17,378	17,378
実計(当初)	17,378	0			0	0	0	-	-	17,378
決算	17,031	-			-	-	-	*****	*****	17,031
共通事務費	MP前期	0		0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0		0	0	-	-	-	-	0
	決算	0		-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	0	1,090	1,090	1,090	1,090	*****	*****	4,360	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	1,090	-	-	-	-	*****	*****	1,090	
歳出計①	MP前期	0	18,468	18,468	18,468	18,468	*****	*****	73,872	
	実計(当初)	17,378	0	0	-	-	-	-	17,378	
	決算	18,121	-	-	-	-	*****	*****	18,121	
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
一般財源①-②	MP前期	0	18,468	18,468	18,468	18,468	*****	*****	73,872	
	実計(当初)	17,378	0	0	-	-	-	-	17,378	
	決算	18,121	-	-	-	-	*****	*****	18,121	
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

評価区分	評価点		その理由
必要性	二次評価	4	中学1年生の学力不振、不登校、いじめ、荒れ等につながることを未然に防ぐために必要な施策である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業		
効率性	二次評価	4	勤務日数や勤務時間、人数等について適正に考慮し効率的に雇用・配置している。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業		
成果	最終評価	4	平成18年度の事業開始以来、継続して7名（古賀中2名、古賀北中3名、古賀東中2名）の配置を行い、生徒へのきめ細かな学習指導や生活指導等を実施しており、中学校の学習や生活の変化になじめない生徒への支援等を行うことができていることから、成果はあったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業		

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、きめ細かな指導による生徒の学力保障と学級の健全化を図るべく、今後も事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	17	小学校環境適応支援事業

	事 業 概 要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事 業 内 容	市内全小中学校の児童生徒に対して	心理テスト「QUアンケート」の実施により、子ども達にとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てる。
	事 業 内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに、市内全小中学校の全学級で1回目の「hyper-QU」を活用した調査を行い、学級集団の状態や生徒指導上の問題点を把握する ・各校・各学級で調査結果をもとに具体的な手立てを講じ、学級集団づくり、学習指導、生徒指導に活用する ・後期に2回目のQUアンケート調査を行い、取り組みの効果を検証する 	
	事 業 の 経 緯 及 び 今 後 の 展 望（開始～現在～将来）	
	<p>児童生徒を取り巻く社会情勢や教育環境等の急激な変化の中、人とのコミュニケーション能力が不十分なために、友達関係づくり、人間関係づくりが円滑にできない児童生徒が全国的に増えてきている。</p> <p>市内小中学校においても、このことが不登校や学級の荒れにつながっている。</p> <p>したがって、子どもたちの学級生活での満足度と意欲・学習集団の状態を測定する心理テスト「QUアンケート」を導入し、学級集団の状態や生徒指導上の問題点を分析する。</p> <p>そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れの予防・早期発見・改善や教育実践の効果測定などに活用し、子どもたちにとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てる。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施 策 評 価	
	必要性	効率性	成 果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	17	小学校環境適応支援事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価			貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性			
						規模			経費
1 小学校学級人間関係づくり支援事業費 人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠外 平成23年度 ~ 702010 教育部・学校教育課・学	前々年度							前々年度事後評価 前年度事後評価 現年度事前評価 現年度事後評価 事業の趣旨に沿って適正、円滑に事務を実施している。 。	
	前年度								
	現年度	1	4	4	4	3			
	前々年度								
	前年度								
	現年度								
	前々年度								
	前年度								
	現年度								
	前々年度								
	前年度								
	現年度								

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
決算	0.0100	-	-	-	-	-	*****	*****	0.0100

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時05分42秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	学事係	吉永ゆかり	
直通番号・内線	942-1130	423	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	17	小学校環境適応支援事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			不登校児童数	MP前期	6	5	4	3	3	
		実施計画	6	5	4	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	5	-	-	-	-	-	*****
指標①	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
	不登校児童数	児童生徒の不登校状況推移（推計）を、平成21年度実績数に基づき記載								
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	
		実施計画								*****
	単位	結果								*****
指標②	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	
		実施計画								*****
	単位	結果								*****
指標③	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期	0	1,771	1,771	1,771	1,771
		実計(当初)	1,771	0	0	-	-	-	-	1,771
		決算	1,733	-	-	-	-	*****	*****	1,733
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	人件費関連	MP前期	0	89	89	89	89	*****	*****	356
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	89	-	-	-	-	*****	*****	89
	歳出計①	MP前期	0	1,860	1,860	1,860	1,860	*****	*****	7,440
		実計(当初)	1,771	0	0	-	-	-	-	1,771
		決算	1,822	-	-	-	-	*****	*****	1,822
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
一般財源①-②	MP前期	0	1,860	1,860	1,860	1,860	*****	*****	7,440	
	実計(当初)	1,771	0	0	-	-	-	-	1,771	
	決算	1,822	-	-	-	-	*****	*****	1,822	
【補足（考え方（他市の状況）・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等）】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	17	小学校環境適応支援事業

評価区分	評価点		その理由
必要性	二次評価	4	子どもたちにとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てるのに必要な事業である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業		
効率性	二次評価	4	業者委託により経費節減をしながら年2回の調査を実施でき、効率的に事務を実施している。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業		
成果	最終評価	4	年2回の調査を実施し、結果をもとに具体的な手立てを講じ、学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てていることから、成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業		

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、今後も学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てるよう、事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	------------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

	事業概要	
	対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
事業内容	市内全小中学校の児童生徒に対して	心理テスト「QUアンケート」の実施により、子ども達にとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てる。
	事業内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに、市内全小中学校の全学級で1回目の「hyper-Q U」を活用した調査を行い、学級集団の状態や生徒指導上の問題点を把握する ・各校・各学級で調査結果をもとに具体的な手立てを講じ、学級集団づくり、学習指導、生徒指導に活用する ・後期に2回目のQUアンケート調査を行い、取り組みの効果を検証する 	
事業内容	事業の経緯及び今後の展望(開始～現在～将来)	
	<p>児童生徒を取り巻く社会情勢や教育環境等の急激な変化の中、人とのコミュニケーション能力が不十分なために、友達関係づくり、人間関係づくりが円滑にできない児童生徒が全国的に増えてきている。</p> <p>市内小中学校においても、このことが不登校や学級の荒れにつながっている。</p> <p>したがって、子どもたちの学級生活での満足度と意欲・学習集団の状態を測定する心理テスト「QUアンケート」を導入し、学級集団の状態や生徒指導上の問題点を分析する。</p> <p>そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れの予防・早期発見・改善や教育実践の効果測定などに活用し、子どもたちにとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てる。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	学事係	吉永ゆかり	
直通番号・内線	942-1130	423	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性			
						規模	経費		
1 中学校学級人間関係づくり支援事業費 人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠外 平成23年度 ~ 702010 教育部・学校教育課・学	前々年度								
	前年度								
	現年度	1	4	4	4	3			4
	前々年度								
	前年度								
	現年度								
	前々年度								
	前年度								
	現年度								
	前々年度								
	前年度								
	現年度								

補 足

前々年度事後評価

前年度事後評価

現年度事前評価

現年度事後評価

事業の趣旨に沿って適正、円滑に事務を実施している。

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP 前期計
	MP 前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
決 算	0.0100	-	-	-	-	-	*****	*****	0.0100

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時05分45秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

基本事業目標	指標①	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		不登校生徒数	MP前期	40	35	30	25	25	*****	*****	0
		実施計画	40	35	30	-	-	-	-	*****	
		単位 人	結果	38	-	-	-	-	*****	*****	*****
		指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
		不登校生徒数	児童生徒の不登校状況推移（推計）を、平成21年度実績数に基づき記載								
基本事業目標	指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	*****	*****
		実施計画									*****
		単位	結果						*****	*****	*****
		指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
基本事業目標	指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	*****	*****
		実施計画									*****
		単位	結果						*****	*****	*****
		指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								

(単位：千円)

基本事業経費	歳出	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			直接事業費	MP前期	0	929	929	929	929	*****	*****
		実計(当初)	929	0	0	-	-	-	-	929	
		決算	886	-	-	-	-	*****	*****	886	
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	人件費関連	MP前期	0	89	89	89	89	*****	*****	356	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	89	-	-	-	-	*****	*****	89	
	歳出計 ①	MP前期	0	1,018	1,018	1,018	1,018	*****	*****	4,072	
		実計(当初)	929	0	0	-	-	-	-	929	
		決算	975	-	-	-	-	*****	*****	975	
基本事業経費	歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
			実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
			決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
		県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
			実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
			決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
	一般財源 ①-②	MP前期	0	1,018	1,018	1,018	1,018	*****	*****	4,072	
		実計(当初)	929	0	0	-	-	-	-	929	
		決算	975	-	-	-	-	*****	*****	975	
【補足（考え方（他市の状況）・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等）】											

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	子どもたちにとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てるのに必要な事業である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	業者委託により経費節減をしながら年2回の調査を実施でき、効率的に事務を実施している。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	年2回の調査を実施し、結果をもとに具体的な手立てを講じ、学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てていることから、成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、今後も学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てるよう、事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年07月19日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	全中学校2年生に対して、	下記目的のために、市内事業所で職場体験をさせる。 ・生徒が自己の理解を深め、職業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるように学習させる。 ・社会的なルールやマナーを体得させ、異世代とのコミュニケーション能力の向上が図れるように学習させる。
	事業内容	
	市内事業所の受入れ先の確保 ドリームステージ（職場体験学習）実行委員会の開催（年4回） 事業所が生徒を受入れるにあたっての要望等の連絡調整 ドリームステージ報告書の作成	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
<p>【職場体験が求められる背景】 職場体験が求められる背景として、子どもたちの生活や意識の変容、学校から社会への移行をめぐる様々な課題、そして、何よりも望ましい勤労観、職業観を育む体験活動等の不足が指摘されている。 現状の子どもたちは、社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されている。</p> <p>【職場体験の必要性】 職場体験には、生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることが求められている。 また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味を持っている。</p>		

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年07月19日		
係・氏名	学事係	吉永ゆかり	
直通番号・内線	942-1130	423	

(政策体系図)

基本目標	03	ころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価						貢献度		
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性		規模	経費			
						方向性	規模					
基本事業を構成する細事業	職業体験学習事業費	前々年度										
	人工数	0.0000										
	継続 経常的経費 枠内	前年度										
	平成19年度 ~	現年度	1	4	4	4	2	3	4	4		
	702010 教育部・学校教育課・学	前々年度										
		前年度										
		現年度										
		前々年度										
		前年度										
		現年度										
		前々年度										
		前年度										
		現年度										
		前々年度										
		前年度										
	現年度											
	前々年度											
	前年度											
	現年度											
	前々年度											
	前年度											
	現年度											
	前々年度											
	前年度											
	現年度											
	前々年度											
	前年度											
	現年度											

補 足	
前々年度事後評価	
前年度事後評価	
現年度事前評価	
現年度事後評価	中学校学習指導要領の趣旨に沿った事業の実施が円滑に行われている。

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP 前期計
	MP 前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決 算	0.0300	-	-	-	-	*****	*****	0.0300

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時05分48秒 作成

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年07月19日	
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			体験学習が出来ない生徒数	MP前期	0	0	0	0	0	
		実施計画	0	0	0	-	-	-	-	*****
	単位	結 果	0	-	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	生徒数	全中学校2年生全員を受け入れるよう市内事業所に協力していただき、体験学習(受入れ)ができない生徒がないようにする。								
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	
		実施計画								*****
	単位	結 果						*****	*****	*****
指標②	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	
		実施計画								*****
	単位	結 果						*****	*****	*****
指標③	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位:千円)

基本事業経費	内 訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳 出	直接事業費	MP前期	0	356	356	356	356
実計(当初)	376	0			0	-	-	-	-	376
決 算	316	-			-	-	-	*****	*****	316
共通事務費	MP前期	0		0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0		0	0	-	-	-	-	0
	決 算	0		-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	0	1,350	1,350	1,350	1,350	*****	*****	5,400	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決 算	195	-	-	-	-	*****	*****	195	
歳出計 ①	MP前期	0	1,706	1,706	1,706	1,706	*****	*****	6,824	
	実計(当初)	376	0	0	-	-	-	-	376	
	決 算	511	-	-	-	-	*****	*****	511	
歳 入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市 債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
一般財源 ①-②	MP前期	0	1,706	1,706	1,706	1,706	*****	*****	6,824	
	実計(当初)	376	0	0	-	-	-	-	376	
	決 算	511	-	-	-	-	*****	*****	511	
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 4	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を身につけることができるようにするために必要な事業である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	市内事業所のご協力を頂く等して、少ない経費で職業体験を実施することができている。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできる教育活動であり、市内3中学校の2年生583人全員が市内132事業所において職業体験を実施できており、成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度は高く、今後も市民や事業所等への周知・PR活動も含め事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時06分45秒 作成

担当課	702020	教育部・学校教育課・指導係
-----	--------	---------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田	嘉彦
直通番号・内線	942-1348	427	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

事業内容	事業概要	
	対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
	特別な教育的支援を要する児童生徒に対して	個に応じた適正(必要)な教育の場を支援・指導する。
	事業内容	
	就学指導委員会の実施により、個に応じた適正(必要)な教育の場を指導し、特別支援教育事業各種事業について、学校(特別支援学級、通級指導教室及び通常学級)、さらに特別支援教室や特別支援教育支援員と連携することにより当事業を行っている。	
	事業の経緯及び今後の展望(開始～現在～将来)	
	<p>特別支援教育は、学校教育法改正により、小中学校に在籍する要支援児童生徒に対して、その困難さを克服するための適切な教育を行うことが明記された。</p> <p>その背景として、特別支援学級の増加、通級指導教室の指導にLD・ADHDを加えたことによる通級指導教室の増加がある。</p> <p>さらに文科省調査において、通常学級に要支援児童生徒が6%程度いるという結果がある。</p> <p>近年、教育上特別な支援が必要な児童生徒が増えている現状、また特別支援教育の充実・進展により、特別支援学級、通級指導教室を希望される方が増加している状況である。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
	※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小							

平成23年度 基本事業管理表

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

基本事業を構成する細事業	基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価				貢献度	補 足
			優先順位	必要性	効率性	成果	方向性			
							規模	経費		
基本事業を構成する細事業	1 就学指導事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前々年度								前々年度事後評価 前年度事後評価 現年度事前評価 現年度事後評価
		前年度								
		現年度	1	5	4	4	3		4	
	2 702020 教育部・学校教育課・指 特別支援教育支援員配置事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 平成20年度 ~	前々年度								
		前年度								
		現年度	4	4	4	4	3		4	
	3 702020 教育部・学校教育課・指 通級指導教室事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前々年度								
		前年度								
		現年度	3	5	4	4	3		4	
	4 702020 教育部・学校教育課・指 特別支援教室事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 平成20年度 ~	前々年度								
		前年度								
		現年度	2	4	4	4	3		4	
		前々年度								
		前年度								
		現年度								
		前々年度								
		前年度								
		現年度								
		前々年度								
		前年度								
		現年度								

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	2.8600	-	-	-	-	*****	*****	2.8600

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時06分45秒 作成

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	指導係	本田 嘉彦	
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政策	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

指標名	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H27年度
			就学指導委員会申込者数	MP前期	57	60	62	64	66	*****
	実施計画	57	60	62	-	-	-	-	*****	
	単位 人	結果	55	-	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
基本事業目標	申込者数									
	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
指標②	特別支援教育支援員活用時間数	MP前期	250	250	250	250	250	*****	*****	250
	実施計画	250	250	250	-	-	-	-	*****	
	単位 時間	結果	250	-	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	年間支援にあたった時間数									
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位:千円)

内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計		
		歳出	直接事業費	MP前期	0	6,379	6,379	6,379	6,379	*****	*****
	実計(当初)	6,513	0	0	-	-	-	-	-	6,513	
	決算	6,118	-	-	-	-	*****	*****	*****	6,118	
	共通事務費	MP前期	0	134	134	134	134	*****	*****	536	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0	
	人件費関連	MP前期	0	12,330	12,330	12,330	12,330	*****	*****	49,320	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0	
	決算	13,700	-	-	-	-	*****	*****	*****	13,700	
	歳出計①	MP前期	0	18,843	18,843	18,843	18,843	*****	*****	75,372	
	実計(当初)	6,513	0	0	-	-	-	-	-	6,513	
	決算	19,818	-	-	-	-	*****	*****	*****	19,818	
基本事業経費	歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
		県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0	
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0	
特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0		
実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0		
決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0		
一般財源①-②	MP前期	0	18,843	18,843	18,843	18,843	*****	*****	75,372		
実計(当初)	6,513	0	0	-	-	-	-	-	6,513		
決算	19,818	-	-	-	-	*****	*****	*****	19,818		
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】											

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	702020 教育部・学校教育課・指導係
-----	----------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	二次評価 5	特別な支援を要する児童生徒に対する適正な教育の場の支援のため必要である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	二次評価 4	就学指導委員会を開催し、個々に応じた教育の場について判定協議を行い、指導を行った。又、学校(特別支援学級、通級指導教室、通常学級)や特別支援教育支援員、ひまわり教室主任相談員と連携することで、よりきめ細やかな教育支援を行うことができた。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 4	小中学校に在籍する教育上特別な支援を要する児童生徒に対する適切な教育の場を提供できたことから、成果はあったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、特別支援教育支援員及び特別支援教育主任相談員の配置に対する満足度は高かった。特別な支援を要する児童生徒の数が年々増加傾向にあり、支援体制の改善も含め、今後もより個々に応じた効果的な教育の支援を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時36分51秒 作成

担当課	703000 教育部・生涯学習推進課
-----	----------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	社会教育振興係	智原英樹
直通番号・内線	942-1347	

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政策	03	共働のまちづくりの推進
施策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

	事業概要	
	対象 (誰・何に対して)	どのようにしたいのか
	市民、ボランティア団体、NPO法人等に対して	市民活動を支援し、市との共働事業への展開にも役立てる。
事業内容	事業内容	
	<p>〔市民活動支援センター〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動の情報収集及び提供 <ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク、つながりサポーターの受付、登録、更新 ・市民活動団体等台帳の作成 ・支援センター広報の作成・発行 (HPの有効活用) ●市民活動の促進のための交流 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者を対象にした情報交換会 (交流会) の開催 ●市民活動の相談 <ul style="list-style-type: none"> ・来館者及び電話の対応 (相談記録簿の作成) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・備品等の管理・来館者数の把握・調査研究 (ニーズ把握ほか) <p>〔コミュニティ活動災害補償保険〕</p> <p>事故がおきたときの速やかに補償の一部を賄い、市民活動に安心して参加ができるようする。市民活動に際して事故が発生した場合、所管を通して報告を受け、市民共働課から保険業者に保険手続きをする。</p>	
	事業の経緯及び今後の展望 (開始～現在～将来)	
	<p>〔市民活動支援センター〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成21年度に国の補助を受けて、旧少年センターを改修、平成22年4月1日に開設。 ●平成22年4月～7月は、臨時職員1名体制 ●平成22年8月1日から雇用促進のための県費 (ふるさと雇用再生特別基金事業) を活用し、管理業務以外の運営業務を社会福祉協議会に委託。 [2名体制で対応] [委託期間: H22・8～H23・3] ●平成24年1月、愛称を募集し『つながりひろば』に決定 ●平成23年度でふるさと雇用再生特別基金事業が終了することもあり、平成24年度から市の直営で事業を展開。 <p>〔コミュニティ活動災害補償保険〕</p> <p>平成13年度から補償制度を整備。対象範囲や補償内容を見直しつつ継続していく。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	703000 教育部・生涯学習推進課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	社会教育振興係	智原英樹
直通番号・内線	942-1347	

(政策体系図)

基本目標	07 互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政策	03 共働のまちづくりの推進
施策	03 市民活動の支援
基本事業名	02 市民活動支援事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性				
						規模	経費			
1 コミュニティ活動災害補償保険事務費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 平成23年度 ~ 101500 総務部・地域コミュニテ	前々年度									前々年度事後評価
	前年度									
	現年度	1	4	3	4	3			4	
	703000 教育部・生涯学習推進課									
2 人材派遣事業費 人工数 0.0000 継続 臨時的経費 枠内 平成23年度 ~ 703000 教育部・生涯学習推進課	前々年度									前年度事後評価
	前年度									
	現年度	3	3	3	3	2	4	3	3	
	703000 教育部・生涯学習推進課									
3 ボランティア活動支援事業費 人工数 0.0000 継続 臨時的経費 枠外 平成23年度 ~ 平成23年度 703000 教育部・生涯学習推進課	前々年度									現年度事前評価
	前年度									
	現年度	2	3	3	3	2	4	3	3	
	703000 教育部・生涯学習推進課									
4 NPO法人設立情報発信事業(統合のため削除) 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 平成23年度 ~ 703000 教育部・生涯学習推進課	前々年度									現年度事後評価
	前年度									
	現年度	99								
	703000 教育部・生涯学習推進課									
	前々年度									徐々にではあるが、市民活動支援センターが市民に浸透してきており、今後更に登録数を増やすなど、事業内容を充実させて活性化を図っていくことが重要である。
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.7100	-	-	-	-	*****	*****	0.7100

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時36分51秒 作成

担当課	703000	教育部・生涯学習推進課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	社会教育振興係	智原英樹
直通番号・内線	942-1347	

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政策	03	共働のまちづくりの推進
施策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H27年度
			市民活動団体把握数	MP前期	70	80	90	100	150	*****
		実施計画	70	80	90	-	-	-	-	*****
	単位	団体	結果	65	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	市民活動団体把握数	市民活動支援センターに登録し情報提供できる団体数を掘り起こしていく。								
指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H26年度
			市民活動支援センター来館者数	MP前期	2000	2200	2400	2400	2400	*****
		実施計画	2000	2200	2400	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	2054	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	市民活動支援センター来館者数									
指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
				MP前期						*****
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
		直接事業費	MP前期	0	9,779	9,779	9,779	9,779	*****
	実計(当初)	9,779	0	0	-	-	-	-	9,779
	決算	8,060	-	-	-	-	*****	*****	8,060
共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	0	3,473	3,473	3,473	3,473	*****	*****	13,892
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	3,499	-	-	-	-	*****	*****	3,499
歳出計 ①	MP前期	0	13,252	13,252	13,252	13,252	*****	*****	53,008
	実計(当初)	9,779	0	0	-	-	-	-	9,779
	決算	11,559	-	-	-	-	*****	*****	11,559
国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	5,713	0	0	-	-	-	-	5,713
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	5,713	0	0	-	-	-	-	5,713
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
一般財源 ①-②	MP前期	0	13,252	13,252	13,252	13,252	*****	*****	53,008
	実計(当初)	4,066	0	0	-	-	-	-	4,066
	決算	11,559	-	-	-	-	*****	*****	11,559
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】									

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	703000 教育部・生涯学習推進課
-----	--------------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	教育部長	長崎 功一
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政 策	03	共働のまちづくりの推進
施 策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

評価区分	評価点		その理由
必要性	最終評価	3	人口減少・少子高齢化の進行や地域の自主性・自立性の向上が求められるなど大きな社会の変化を迎える中、多様化する市民ニーズや地域の課題に行政サービスだけでは対応することが困難になってきている。そのような社会状況の中、市民活動の促進を図り、地域課題の解決に取組む市民の自主的かつ自発的な活動を支援することは重要である。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業		
効率性	最終評価	3	人材バンクの充実やNPO・ボランティアの情報発信や交流を促進するなど機能の充実を図っており、概ね効率的であると判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業		
成果	最終評価	3	ホームページや支援センター広報誌等を活用し、ボランティア団体等への情報提供を行ったり、支援センターが市民に親しみやすい施設になるよう愛称を募集するなどした結果、来館者数も平成22年度840人から平成23年度2054人と徐々に増加してきたことから、概ね成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業		

今後の方向性	方向性			最終評価	規模	経費	評価者コメント
	最終評価	規模	経費				
	2	4	3				事業満足度調査では、ボランティアの活動支援に対する市民の満足度はやや高く、今後も広報活動等を充実させ情報収集を継続的にいき、登録者数が増加するよう事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小							